

意見総数 9件

H I V 診 療 に つ い て （ 3 件 ）

	意見の内容（要旨）	送信者
1	<p>性感染症としての感染者が急増しつつあり、千葉県は全国でも3～4番目に感染者が多いが、拠点病院は7カ所で、受入能力は入院で7～21人、外来で350～700人程度で、多くの患者が東京都内で受診しているのが現状である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この状態を解決するためには癌に対するがんセンターのように、県立HIV/AIDSセンターの設立が必要と考える。 ・施設面での対策に加えて、感染予防活動が重要であり、医療界のみでなく教育委員会、学校、マスコミと共に性感染症予防活動を拡げ、県民の健康、特に青少年の健康を守る為に尽力されることを望む。 	医療関係者
2	<p>千葉県はHIV患者数が多いが、HIV拠点病院の配置が偏っているため、遠方から1～2時間かけて患者が送られてくるのが現状で、東京まで通院している患者も多いと聞いている。</p> <p>HIVには、未だ根強い医療従事者側の差別的感覚が残っているとわざるを得ない現状もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的病院として、県立病院には、こうした問題に率先して取り組んでほしい。 ・また、県内で難知性の神経症状で長期療養が必要にもかかわらずどこにも転院できず困ったというHIV患者もあったように聞いており、こうした場合には、県の介入等による協力をお願いしたい。 	医療関係者
3	<ul style="list-style-type: none"> ・計画（素案）にはHIV患者の診療について記載があり、積極的に取り組む姿勢が感じられる。 ・現在、HIV診療に従事する者として、以下の2点を感じている。 <ul style="list-style-type: none"> 無料のHIV検査へのアクセスを向上させ、感染初期の陽性者を発見する方策を考えて欲しい。 HIV陽性患者には、入院の適応ではないが、在宅ケアでは不十分といった患者があり、このような患者及び家族を支援するシステムを考えてほしい。（担当医は、訪問看護、住宅確保、差別の撤廃等に時間をとられている。） ・「良い医療を提供するためには、金がかかる。」ことを主張されても良いのではないかと思う。 ・千葉市内には、HIV拠点病院が千葉大、千葉東病院、千葉医療センターがあるが、これより東京よりにはひとつもな 	医療関係者

<p>い。この地域にはHIV陽性患者が多数いると推定され、東京の病院に通院している患者も多数いる。</p> <p>困難な問題とは思いますが、将来的にどのような解決策があるか検討してほしい。</p>	
--	--

こども病院について（3件）

<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急への対応に関するこども病院側の意欲は頼もしく感じるが、診療受け入れの枠が広がって、今までのスタッフでやっていけるのか、疑問である。 ・現状でも、混んでいる科では、1～2時間が普通の待ち時間が、それによって、さらに長時間化するのではないか。 ・患者・利用者が増加している中で、さらに来院者を増やそうとするなら、トイレ（狭い）、特殊トイレ（車椅子用のトイレが少ない）、駐車場等の設備も改善してほしい。 ・成育医療について触れられていないが、成人してからも診てくれる体制を整えてほしい。 	<p>患者家族</p>
<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成育医療の充実 成人先天性心疾患患者の受け入れ。今の病院の形だと中学・高校になった子供たちが入院するのが大変。 ・駐車場の不足の解消 新たなスペースの確保に努めるとのことだが、いつ確保できるのか、期日をはっきり教えてほしい。 ・入院待機者の減少を目指すため、在院日数の短縮を図るとのことだが、急変の可能性のある入院患者も多く、在院日数を減らすことによって、子供たちの状態が危険になることはないのか、心配である。 ・障害や疾病の重複した症例についての不安等を聞いてくれるところがない。相談できる場所があると良い。 ・入院中の子の兄弟を預かってもらえる保育室を院内に設置してほしい。 	<p>患者家族</p>

	意見の内容（要旨）	送信者
6	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画に対応するのに今の医師の人数で対応できるのか。医師に余裕がなくなると診療にも支障が出る。 ・周産期への対応としてドクターズカーの利用とあるが、新生児科の医師の異動もあり、補充がなければ負担となる。 ・院内学級には触れているが、リハに関しては何も無い。回復リハや先天性のリハの早期実施のための連携はどのようになるのか。 ・駐車場に関しても具体的なことは明記されていない。 ・計画の実行にはある程度の予算が必要と思われるが、一方で、削減を打出して本当に出来るのか。 ・情報発信の仕方（HPが見にくい） ・NPOとの連携は具体的に決まっているのか。 ・成育医療のことが考えられていない。 	患者家族 団体関係 者

地域医療（佐原病院）について（2件）

7	<p>1．医療スタッフの確保・充実</p> <p>母親の安心と産み育ての環境には、身近な地域での診療が不可欠なので、産婦人科医の複数配置をお願いしたい。 アレルギー科、新生児未熟児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科などの専門的外来を開設することをお願いしたい。</p> <p>2．IT化の推進</p> <p>各県立病院間のネットワーク化を図り、地域においても高度医療や専門的医療が得られる仕組みを検討してほしい</p> <p>3．救急医療体制の充実</p> <p>救急患者の受け入れ体制の充実・強化をお願いしたい。</p>	市職員 (佐原市役 所)
8	<p>1．収支改善もいいが、それによって医療サービスが低下しないようにしてほしい。また、医療スタッフの質の低下を招かないようにしてほしい。</p> <p>2．地域でも高度な医療、専門的な医療を受けられるようにしてほしい。</p>	佐原市

その他（1件）

9	<p>用語について</p> <p>個所 P29（5）県民への広報と県民ニーズの把握</p> <p>ア．課題（広報の充実） 近年増加している患者さんや家族からの相談や「苦情」 修正案「苦情」を「意見」へ</p> <p>（理由）国語辞典で苦情の意味は「損害などに対する不満。」であり、「苦情」には前向きな意見を含まないため。</p>	県職員
---	--	-----